

フォーユー新聞



発行：奉優会
事務局
企画事業推進室

70号（平成28年1月発行）

新春のお慶びを申し上げます。

社会福祉法人 奉優会 理事長 香取 真恵子



あけましておめでとうございます。

毎年皆様の事例研究発表会は私の唯一楽しみの1つとなっております。今年には特にグループホームと小規模多機能の現場の状況を知りたくて、予選会から参加いたしました。

午前中はグループホームを中心に11事例、午後は小規模多機能の10事例が対象でした。どの事例も素晴らしい目的を持って、プレゼンされておられました。

Kグループホームでは、A様の「生きがい」を見つけるために、日々の暮らしの中やリハビリの中で散歩、体操、調理、マッサージ、水やりなど試みましたが、なかなか見つかりません。ではどうしましょうか？と色々「個別ケア作戦」を試みて、ついに月2回の書道教室の先生としてご活躍いただくことがA様の「満足」と「生きがい」につながりました。認知症になってもご支援することで見違えるように意欲が向上し、ご自分の生きる力を発揮することができました。

また、I事業所では、認知症カフェの展開により、地域の方々との交流を目的に活躍することで、S様は認知症の周辺症状が減少し、1年前の物取られ症状や帰宅願望もなくなり、K様は家族を初め、地域の方々など初めての方とでも臆せず交流することができるようになりました。これらの活動はその方たちの潜在的な能力を引き出し、ご本人の満足度の向上、認知症状の緩和で「普通の生活」へと繋げていくことができたという事例でした。

他に小規模多機能居宅介護では、「訪問」「通い」「泊まり」を組み合わせ、ご登録いただいている方の24時間365日を支援。時間、曜日、回数に関係ない定額制なので、既存のサービスでは対応しきれない急な利用や、突発的な宿泊が可能となっているので、重度化しても施設入所を拒む本人やご家族のニーズに限りなく応えることができます。そこで、ターミナルケアも小規模なら対応することが可能ということで、S事業所の事例では、今回平成25年3月13日からご利用になりましたT様は、74歳で、要介護4・認知症自立度4・アルツハイマー型認知症、甲状腺がん、胆管がん（末期状態）転移性腰椎症をお持ちの方です。ターミナルケアを行うにあたっては、本人・家族・主治医・看護・介護と医療との連携を最大限に行い、幻覚、意識レベルの低下など日々刻々と状態の変化がある中で、なぜか3月末頃から少しずつ回復され、7月には老健に入所の申請をするほどにお元気になりました。ターミナルケアではまずはご本人の希望を大切にすること。つまり小規模多機能での支援は少なからず、奇跡への後押しとなったこと、それには医療との連携の体制が万全に整った環境と住み慣れた場所であったこと、何よりもご本人に24時間毎日寄り添えたことで成功されたそうです。とても素晴らしい事例です。

数々の事例を伺いながら感じたことは、認知症でもターミナルケアでも共通することは、本人の声を大切に聴くこと、自らの力を出せる状況を作ること、つまり介護とは、ご支援することで、生きる力を最大限に引き出し、勇気を与えることだと強く感じました。

介護職は心身の状況に応じて、最期まで人として支援する専門職であるという「誇り」と「自信」を持ってこれからも介護の仕事を追及し続けていきたいと思っております。



謹賀新年！！



明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします！

優っくり村池尻



朝ご飯は毎年恒例のおせちとお雑煮。今回はさらにお箸折やランチマットもお正月仕様にして、雰囲気を出してます。池尻稲荷神社まで初詣にいきます。

等々力の家



午前中からご家族など、多くの面会があり、初詣に近くの神社まで出掛けられたり、ゆっくりお正月を過ごされている方もいらっしゃいます。写真は書き初めの様子です。

優っくり村町田森野

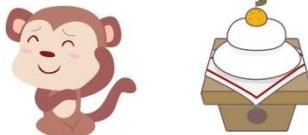


車で5分ほど行ったところにある神社に初詣に行ってきました。皆さん一生懸命お祈りをしていました。何を願っているのでしょうか。今年もいい年でありますように。

優っくり村鎌田



正月らしくみんなでかるた大会を行いました。軽い気持ちで始めたかるたもいつの間にか真剣です。



優っくり村杉並沓掛の開所式が行われました

平成27年11月26日(木)優っくり村杉並沓掛の開所式が行われました。

前日から降り続いていた雨も式が始まる頃には止み、空も明るくなっていました。

式には、多くの来賓の方にご出席いただき盛大に執り行われました。

事業所責任者の能登谷氏は、地域との連携を踏まえた、愛される施設創りを約束し、ご入居様と「ゆっくり」「いっしょに」「楽しく」をモットーに、目標を語りました



2016年度新卒内定式と懇親会が開催されました

平成27年12月18日(木)平成28年4月入職予定の内定者に、今年度EPA職員としてインドネシア・ベトナム10名を含んだ47名が参加し、28年度内定式が開催されました。

その後、フォーユカフェにて昼食をいただき、奉優の家、淡路デイ、淡路ショート、目黒区高齢者センターを見学。恵比寿イーストギャラリーにて、先輩職員たちと懇親を深めました。内定者の皆さん！4月から一緒にお仕事できるのを楽しみにしております！



各事業所からメリークリスマス！！



▲ひがしデイ

窓辺から、ひょっこり顔を出した5人のサンタさん。どのサンタがお好み？？

▲優っくり村喜多見

グループホーム、小規模、デイサービス合同で盛り上がりました！！

▲優っくり村石神井台

職員によるコンサートを開催しました。一緒に歌って笑って、楽しい日になりました。

▲かわいいの家

演奏してくださったU様ファミリー！毎年クリスマス演奏して下さいます。おばあちゃんも昨年御逝去されましたが、家族様とのご縁は切れません。

編集後記

新年明けましておめでとうございます！清水寺で発表される恒例の「今年の漢字」は「安」だったそうです。でも私が感じるのは、箱根山の噴火や安保法制、IS問題や各地のテロ。「安」というよりは「騒」という感じがしました。今年こそは、「安」全で、「安」らぎのある、皆様にとって素晴らしい一年でありますように・・・
企画事業推進室 河原